

# 「南あわじ夢祭2006」を開催

南あわじ市の活性化や一体化を目指す市民まつり「南あわじ夢祭2006」が八月二十六、二十七日の両日、同まつり実行委員会により「淡路ファームパーク・イングランドの丘」で開催されました。同パークは両日とも無料開放され、家族連れや観光客など約二万一千五百人が休日を楽しみました。



▲総勢1000人以上による阿波踊りの総踊り

初日の特設ステージは、和太鼓グループ「豊」の迫力ある演奏で開幕。式典に続き、正午からは保育園児約百四十人による「はばタンダンス」で雰囲気盛り上げました。駐車場を利用した産業祭では、特産の玉葱や淡路ビーフ、そうめんなどを使った特別料理が販売されました。南あわじ市出身の加地亮選手のエニ



▲4中学校合同によるバンド演奏

フォームの展示、建設用重機体験や自動車解体なども行われました。両日開催された防災フェアでは、消防はしご車空からの景色に歓声をあげていました。二日目には、高校生の和太鼓演奏、中学校合同によるブラバンド演奏などが披露され、阿波踊り連約千人による総踊りで祭りを締めくくりました。



▲水消火器体験コーナー



▲オリエンテーリング「南あわじDA～らん・らん・らん!!」



▲重機体験コーナー



▲巨大シーソーゲーム



▲PKストラックアウト



▲はも早食い競争



▲保育園児によるはばタンダンス



▲コンサート(ムラマサ☆)



▲南淡路だんじり囃交流会



▲まぐろ丸焼き振る舞い



▲自動車からくがきコーナー

## ふれあい市長室

### 防災訓練で災害への備えを確認しよう!

南あわじ市長 中田勝久

市民まつりでは、大勢の方々にお世話いただき、ご出演・ご協賛いただきまして誠にありがとうございます。さて、南海地震を想定した防災訓練を十月二十二日に市民の皆様にご参加いただきながら、大規模に行います。自衛隊ヘリコプターによる沼島からの傷病者搬送や各自自主防災組織・自治会による訓練など関係組織団体にご協力いただき、実践に対応した内容を予定しています。細部につきましては八ページをご覧ください。

また、先般自治会にお世話

になり市民の皆様は、洪水、津波、高潮に分けたハザードマップを全世帯配布させていただきました。地震・津波と風水害の二つの大きな災害に区別し、見直した指定避難所や地震・津波などに対する備えについて詳しく説明しております。市のホームページにも掲載しています。この訓練を通して個々に、何ができて何ができなかったかを検証し、いざという時に

迅速な対応ができるよう話し合ったり、確認したりすることが大切です。「自分の命は自分で守る」「自分の家族は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災の基本に立ち返り、高齢者や障害者、乳幼児や妊産婦など災害時要援護者といわれる方々を助けなければなりません。消防、警察、行政には限界があります。市民全員の命を守るため、「どう逃げるか」「どう助けるか」などを再度点検いただき、自主防災組織の設置をお願いします。災害には、予防、応急対策、復旧・復興対策が必要です。国や県と共に、福良港津波対策検討委員会や淡路広域防災拠点施設の整備など具体的な対応を行っています。復興対策として、兵庫県では、全国に先駆けて誰もが無理なく加入できる住宅再建共済制度を設置しています。市民の皆様、是非ともこの制度へご加入いただきますようお願いいたします。